

事業報告

平成30年度 教育事業 タイニーキャンプ②

平成30年9月29日(土)～30日(日)

【対象】小学生(低学年)

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

小学校低学年の子供たちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。

～主催・後援団体～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市 伊那市教育委員会

～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1 日 目	10:30～ 受付 11:20～ 開会式					開 会 式	昼 食	活 動 準 備	”自然の中で遊ぼう” 「ぼうけんの森で 動物になって遊ぼ う」			夕 食	夕 食	入 浴	絵 本 読 み 聞 かせ	就 寝 準 備	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	”みんなで作ろう！ みんなで食べよう！” 「すいとん作り」 「フルーツポンチ作り」			閉 会 式	13:20～ 閉会式 13:50 解散								

～参加者～

小学1, 2年生 計39名

～活動トピックス～

活動Ⅰ 「動物になって遊ぼう」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員, ボランティア

ぼうけんの森での活動を予定したが天候の関係でプレイホールで行った。冒険の森での経験はあるがプレイホールでのプログラムは初めてという子どもたちも多く、新鮮な気持ちで動物になりきって身体を動かすことができた。



活動Ⅱ 「絵本の読み聞かせ」

講師：ボランティア



活動班毎に担当ボランティアが子どもたちの気に入りそうな絵本や大型紙芝居を事前に準備し読み聞かせを行った。ボランティアの工夫された読み方に子どもたちも真剣な眼差しで聞き入っていた。

活動Ⅲ 野外調理「すいとん作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員，ボランティア

野外炊飯棟で「すいとん」を作った。台風の接近に伴い煮込みは食堂にお願いするなど工程の一部を省いたが、子どもたちは野菜の皮をむいたり切ったり、小麦粉をこねたりすいとんを思い思いの形に作ったりしながら楽しそうに活動に取り組むことができた。



～参加者の声～

《参加児童》

- ・すいとん作りで好きな形に作ることができて楽しかった。とてもおいしくできた。
- ・台風でできないこともあり残念だったが、みんなと仲良くなれて楽しかった。
- ・ボランティアのお兄さんとお姉さんがとても優しくかった。また来たい。

《保護者》

- ・不安にしていたみたいでしたが、ボランティアの方々がとても優しく、楽しく過ごせたみたいですね。お友達もすぐにでき、別れる時淋しくなるほど仲良しになれたみたいで本人にはすてきな思い出になったみたいです。
- ・わずかな時間であったが子どもがたくましくなったように感じました。

～成果と課題～

○台風の接近に伴いプログラムや日程を一部変更することにより参加者及びスタッフの安全性を優先した活動を進めることができた。

- 「動物になって遊ぼう」では移動のための時間や散策の時間が必要なかったため、活動自体が長くなってしまい、飽きてしまう傾向があった。第一回目の反省点と合わせ細案を見直していく必要がある。

